

平成 30 年度 事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

NPO 法人サウンドウッズ

1 活動の成果

街で木を使う機会を増やし、森づくりにつながる収益を森に還元する取り組みを通して、次の世代に森を引き継ぐ森林所有者が、森林経営に意欲を持って取り組むことを支援する活動を展開した。

法人成立後 10 年目を迎えた。31 年 1 月から 3 月にかけて、これまでの 10 年を振り返り、これからの 10 年に向けた活動方針を得るため、法人設立 10 周年記念フォーラム「森にかかわる 10 年、これまでとこれから」と題したセミナーおよびシンポジウムを開催し、多くの参加者にお集まりいただいた。

また、人材育成事業「木材コーディネーター基礎講座」の開催を継続するとともに、基礎講座修了者で構成する、「木材コーディネーター研究会」の活動も充実を図った。

加えて、30 年 7 月に一級建築士事務所登録を完了し、「木の建築サービス～できごとが始まる木の建築～」と題したホームページを公開し、非住宅分野の木造木質化を、企画計画、設計監理、木材調達支援を行う本格的な事業に乗り出した。現在、丹波市内において、建設会社社屋の設計に取り組んでいる。

受託業務としては、公共建築物の木造木質化に、地域の森林資源を活用する支援を、事業発注者である地方公共団体や建築設計事務所に対して行った。その他、建築士および木材関連事業者向けの講座運営や、事業発注者向け研修会のコーディネートなど、森とまちを繋ぐ人材の育成や、企画設計ノウハウの提供を行った。

H28 年度から引き続き、助成を受けたセブン-イレブン記念財団「NPO 基盤強化助成事業」が最終年度となり、①事務局体制の強化、②大阪事務所を活用した関係者ネットワークの強化、③自主事業運営企画を行った。また、例年助成を受けている国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」と、新たに助成を受けた高原環境財団「都会の子供たちの環境学習活動に対する助成事業」の支援を得て、市民向けの活動も展開した

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 自主事業（非収益事業）

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | セブン-イレブン NPO 基盤強化事業 法人設立 10 周年記念フォーラム「森にかかわる 10 年、これまでとこれから」 |
| 資金調達・事業費規模 | 助成金 3,999 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 丹波・大阪の事務所運営 10 周年記念フォーラムの開催（大阪・東京） |
| 概要 | NPO 法人運営の基盤強化を図ることを目的に、スタッフ人件費、事務所賃料および新規事業立ち上げにかかる経費の支援を受けた。10 周年記念フォーラムの開催により、森とまちを繋ぐ法人活動の総括と方針を整えた。 |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 木材コーディネーター研究会運営事業 |
| 資金調達・事業費規模 | 参加者負担金 計 280 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 世話役会の運営支援 大阪市他にて研究会実施 2 月～3 月 |
| 概要 | 木材コーディネーター研究会が企画立案し、所属する会員である木材コーディネーター向けの研修会を実施した。 研修会は、広葉樹と木材コーディネーターにフォーカスしたテーマに基づいて、座学 2 回、現地視察 1 回を開催した。 |

| | |
|------------|---|
| 事業名称 | 木材コーディネーター基礎講座運営事業 |
| 資金調達・事業費規模 | 公益社団法人国土緑化推進機構緑と水の森林ファンド 助成金 850 千円 参加者負担金 計 1,170 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 9 月～平成 31 年 2 月 |
| 実施場所 | 大阪市・兵庫県丹波市 |
| 概要 | 自主事業による人材育成・認定事業。平成 22 年度から始め、今年度が 9 年目の実施となった。座学・演習・ワークショップ・プレゼンテーション演習などをまとめた講座を計 11 日間行い、木材利用による森と街をつなぐ担い手を育てる事業。 森林林業分野・木材流通分野・建築プロダクト等木材利用分野から多彩な受講者を集め、合計 13 名の参加者による講座を行った。 |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 立木直接販売システム運営事業 |
| 資金調達・事業費規模 | 一 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 滋賀県高島市・兵庫県多可郡多可町加美区 |
| 概要 | 森林所有者の管理する森林エリアの提供を受けて、立木販売を通して建築を行う事業。「木の建築サービス」と連動した、非住宅分野の公共性の高い建築物への活用を目指し、事業の枠組みを整備した。 現在丹波市で設計中の施設整備での原材料調達の可能性を検証した。 |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 森の達人チャレンジコース 森と木を学ぶ自由研究講座 |
| 資金調達・事業費規模 | 参加者負担金 37 千円 助成金（高原環境財団）500 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 7 月～12 月 |
| 実施場所 | 兵庫県篠山市・加古川市 |
| 概要 | 子供たちに、森と木に関わる機会を創出する 夏休み自由研究講座「木こりになってベンチをつくろう」の企画の運営を行った。 今年度は、自治会や PTA 活動を支援するための、子ども向け研修会の運営パッケージのとりまとめを行い、森を訪れ、木に触れる機会の拡大に向けた準備を行った。 |

(2) 受託事業（収益事業）

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 京都府立林業大学校講義の実習業務 講義科目「木材コーディネート1・2」講義実習業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 京都府農林水産部森林技術センター 522千円 |
| 実施期間 | 平成30年4月～平成31年3月 |
| 実施場所 | 京都府京丹波町・兵庫県丹波市 |
| 概要 | 森林林業科の学生向けの授業（座学・演習）科目を受託し、講義および演習運営を行った。 |

| | |
|------------|---|
| 事業名称 | 三重県中大規模木造建築設計セミナー運営業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 三重県 2,877千円 |
| 実施期間 | 平成30年10月～平成31年3月 |
| 実施場所 | 三重県津市・松阪市 |
| 概要 | 三重県内の建築士、森林林業および木材製造流通事業者向けに、非住宅分野の中大規模建築物の木造木質化をテーマとした研修会の開催を支援した。合計5日間の講座を通して、県産材を活用した設計を行うために必要な、設計手法、木材情報収集、地域の木材調達のためのネットワーク形成などを座学と設計演習を通して学ぶ機会をつくった。建築士15名、木材関連事業者16名の参加を得た。 |

| | |
|------------|---|
| 事業名称 | 地域における民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業 |
| 資金調達・事業費規模 | 一般社団法人木を活かす建築推進協議会 1,620千円 |
| 実施期間 | 平成30年6月～平成31年3月 |
| 実施場所 | 広島県 |
| 概要 | 「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律(H22)」の施行に伴い、地域の木材を使い公共建築物を実現しようとする民間団体を技術支援する事業に、コンサルタントとして参加した。 今年度は、広島県が取り組む「ひろしま木造建築協議会」の運営を支援した。 |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 北播磨地域木材利用推進支援業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 兵庫県北播磨県民局 4,099千円 |
| 実施期間 | 平成30年6月～平成31年3月 |
| 実施場所 | 兵庫県北播磨地域内 |
| 概要 | 公共建築物の木造化については、「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、各市町において「公共建築物における木材利用の促進に関する方針」の運用を活発にするため、県民局が管内市町建築事業発注者向けに行う研修会の運営を支援した。 市町担当者に対し正確な木材の情報や木造建築の知識・技術を提供し、丹波地域・北播磨地域・東播磨地域を横断する、加古川流域の川上・川下の木材利用推進を図った。 また、北播磨地域の森林資源の特徴として挙げられる、良質なヒノキ材の活用に向けた基礎調査を行い、大径ヒノキ原木の活用に道筋をつける業務を行った。 |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 東播磨地域木材利用推進支援業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 兵庫県東播磨県民局 498 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 6 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 兵庫県東播磨地域内 |
| 概要 | <p>公共建築物の木造化については、「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」に基づき、各市町において「公共建築物における木材利用の促進に関する方針」の運用を活発にするため、県民局が管内市町建築事業発注者向けに行う研修会の運営を支援した。</p> <p>市町担当者に対し正確な木材の情報や木造建築の知識・技術を提供し、丹波地域・北播磨地域・東播磨地域を横断する、加古川流域の川上・川下の木材利用推進を図った。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業名称 | 西粟倉村つどい・くらしの拠点施設木材コーディネート業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 西粟倉村 2,413 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 岡山県西粟倉村 |
| 概要 | <p>日常的に村民に利用されている主要な公共施設が集積している村の中心に、基幹施設としての役割を担う役場を中心とした関連施設の整備のため、平成 26 年度にまとめた基本計画に基づき、施設整備のための建築設計業務発注、木材調達発注、設計支援を行っている。また、第二期工事として着工した役場庁舎および議場、図書館、多目的ホールから構成されるつどい・くらしの拠点施設建設のための木材調達コーディネートをを行った。</p> |

| | |
|------------|--|
| 事業名称 | 吉住工務店本社屋設計業務 |
| 資金調達・事業費規模 | 株式会社吉住工務店 4,212 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 9 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 丹波市 |
| 概要 | <p>H30 年度から本格実施を始めた、「木の建築サービス～できごとが始まる木の建築～」の第一弾プロジェクトである。本社屋の改築において、地域の木材を活用した木造建築として実現すべく、企画計画・基本設計・木材調達計画立案の支援を行った。</p> |

| | |
|------------|---|
| 事業名称 | 京丹波町庁舎建設事業木材調達支援事業 |
| 資金調達・事業費規模 | 有限会社香山壽夫建築研究所 7,081 千円 |
| 実施期間 | 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 |
| 実施場所 | 京都府京丹波町 |
| 概要 | <p>H29 年 10 月に実施された、京丹波町庁舎建設事業設計者選定プロポーザルにおいて、提案者チームに加わり、優秀提案者として評価を得て、基本設計実施設計事業者として特定を受けた。</p> <p>基本設計、実施設計段階における、京丹波産木材の積極活用のために必要な、木材供給主体の立ち上げ、企画設計施工工程の調整、供給可能な木材情報のとりまとめなどを担当した。</p> <p>H30 年度から、町内 3 事業者で構成する京丹波町産木材供給企業体の結成を支援し、一部の木材調達を工事に先立ち先行実施はじめた。</p> <p>H33 年 3 月末の竣工を目標に木材調達・設計施工を進める</p> |

3 事業実施体制

(1) 通常総会

日時 : 平成 30 年 5 月 21 日 16 : 00 ~ 18 : 00
場所 : NPO 法人サウンドウッズ丹波事務所
参加者 : 法人役員 4 名・事務局スタッフ 合計 5 名
議事内容 : 平成 29 年度 (第 9 期) 事業報告、決算報告の承認
平成 30 年度 (第 10 期) 事業計画、活動予算の承認

理事会

日時 : 平成 31 年 3 月 10 日 10:00 ~ 11:30
場所 : エルおおさか
参加者 : 法人役員 4 名・事務局スタッフ 合計 5 名
議事内容 : 設立 10 周年記念フォーラムの打合せ
活動方針および具体的事業内容の確認

(2) 事務局体制

代表理事 (事務局長兼務) : 安田哲也 平成 30 年 4 月 ~ 平成 31 年 3 月
スタッフ : 藤田良子 平成 30 年 4 月 ~ 平成 31 年 3 月

(3) 会員

正会員 10 名
賛助会員 28 名 (201903031 現在)

(4) 連携団体・企業他

林野庁
兵庫県
大阪府
京都府
広島県
静岡県
三重県
大阪府河内長野市
京都府京丹波町
岡山県西粟倉村
公益社団法人国土緑化推進機構
公益財団法人高原環境財団
近畿中国森林管理局
一般社団法人木を活かす建築推進協議会
京都府農林水産部森林技術センター
京都府立林業大学校
高知県立林業大学校
京都女子大学家政学部生活造形学科北尾研究室
公益社団法人兵庫県建築士会
一般社団法人静岡県木材業協同組合連合会
一般社団法人広島県木材協同組合連合会
一般社団法人三重県木材協同組合連合会
一般財団法人セブン-イレブン記念財団
一般社団法人安曇川流域森と家づくりの会
NPO 法人西川・森の市場
篠山チルドレンズミュージアム
NPO 法人里山問題研究所
NPO 法人ナチュラルバクヤードファクトリー
NPO 法人森の都研究所
株式会社吉住工務店
株式会社東畑建築事務所
有限会社香山壽夫建築研究所
株式会社アルセット建築研究所
桜設計集団一級建築士事務所
山田憲明構造設計事務所
木構造振興株式会社

以上